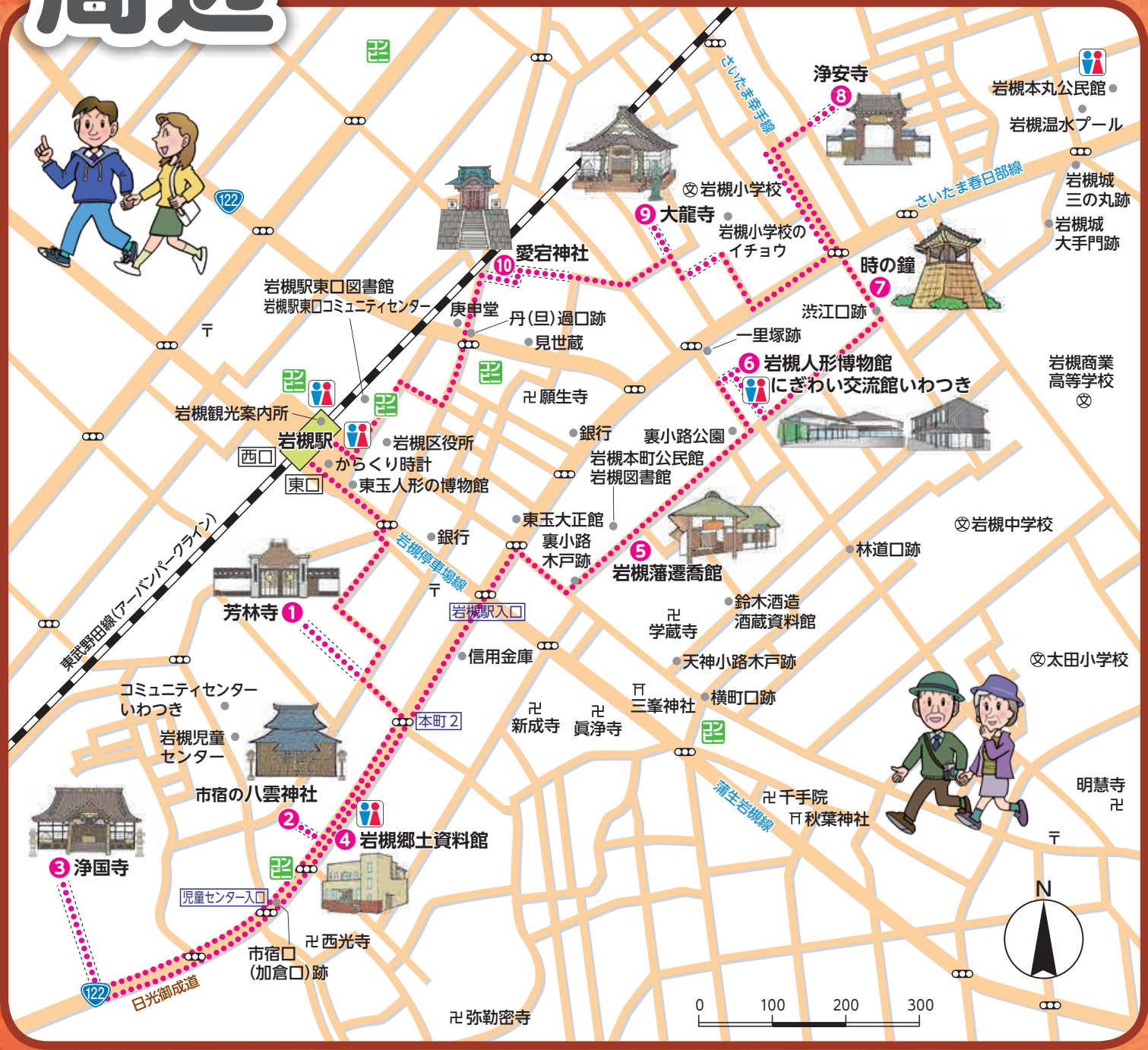


# 岩槻駅 周辺

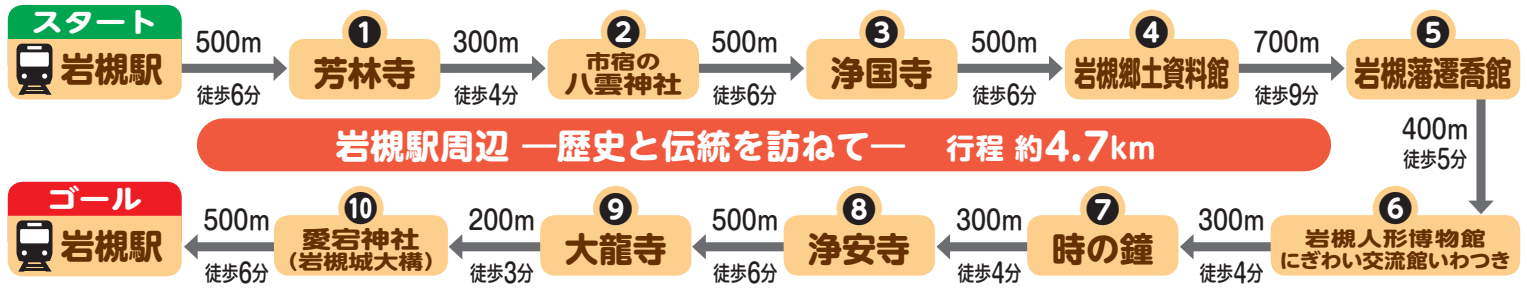
Iwatsuki Station

## 歴史と伝統を訪ねて

城下町と人形のまち岩槻の魅力が味わえるおすすめコースです。気軽に歴史と伝統を楽しんでみませんか。



..... コース    トイレ    コンビニ





## ① 芳林寺

曹洞宗のお寺で、太平山芳林寺といい、釈迦如来を本尊としています。かつては東松山市にあり、太平山地蔵寺といわれていましたが、岩槻城主太田資正により現在の地に移転したと伝えられています。その後資正の子で岩付太田氏最後の城主である太田氏資が、母の芳林妙春尼の冥福を祈るため、堂塔を修造し芳林寺と改めました。境内には、市指定文化財の「太田氏資宝篋印塔」がある他、岩槻藩初代藩主高力清長の子、正長の宝篋印塔や太田道灌騎馬像などがあります。



## ② 市宿の八雲神社

祭神は素戔鳴尊すさのおみことで商売、防火の神様です。永禄3年(1560)に岩付太田氏の家臣勝田佐渡守が市を開設したときに、これを守護する市神として祀られ、江戸時代は牛頭大王すいてんのうし社ともいわれていました。かつては日光御成道の真ん中にありましたが、明治時代に現在の位置に移されました。



## ③ 浄国寺

浄土宗のお寺で、仏眼山英隆院浄国寺といい、阿弥陀仏を本尊としています。天正15年(1587)に岩槻城主北条氏房が鴻巣勝願寺第2世惣誓清巖上人を招いて開山しました。江戸時代には、浄土宗の僧侶の学問所である関東十八檀林に定められました。岩槻藩主阿部家の菩提所として初代正次、三代定高、そして定高に殉じた小倉與兵衛政光の墓(五輪塔)や福山藩主で幕府の老中を務めた阿部正弘が寄進した灯籠などもあります。



## ④ 岩槻郷土資料館

昭和57年(1982)開館。建物は昭和5年(1930)に建てられた岩槻警察署の旧庁舎です。建物の外観は装飾性の少ないものですが、内部は丸窓、庇などにアールデコ調の意匠がみられ、アーチ状の窓や丸柱などとともに昭和初期の特徴をよく残しています。ここには岩槻の歴史や文化にまつわる様々な資料が展示されています。展示内容は、「大昔の暮らし」、「岩槻の歩み」、「くらしの道具」に分けられています。主な展示物として岩槻城の模型や岩槻藩遷喬館を開いた児玉南柯の遺品などがあります。平成28年(2016)国の登録有形文化財になりました。



## ⑤ 岩槻藩遷喬館

岩槻藩主大岡家の家臣児玉南柯こだまなんかによって寛政11年(1799)私塾として開設され、後に藩校となりました。県内に残る唯一の藩校で、県指定文化財になっています。現在ある建物は教場として使われていたものですが、かつては広大な敷地に武芸稽古場や菅原道真を祀った菅神廟などもありました。明治維新後民間に払い下げられ、住居として使われた時期もありましたが、平成15年(2003)から18年(2006)にかけて復元工事が行われ、現在の姿になりました。



## ⑥ 岩槻人形博物館・にぎわい交流館いわつき

岩槻人形博物館は令和2年(2020)に日本初の公立の人形博物館として開館しました。

人形とそれに関する資料の保存収集と調査研究、展覧会や講座、ワークショップなどの活動を通じ、人形文化の魅力を伝えています。

同敷地内には、岩槻のまちなかに賑わいを生み、交流を促進する拠点となる「にぎわい交流館いわつき」も併設されています。



## ⑦ 時の鐘

寛文11年(1671)岩槻藩主阿部正春が設置し、その後、鐘にヒビが入り音色が悪くなったため、享保5年(1720)岩槻藩主永井直陳により改鋳されました。かつては旧藩士が毎日鐘を撞いていましたが、平成13年(2001)に自動化されました。現役の「時の鐘」としては県内最古のものです。



横にあるイチョウは、明治29年(1896)に岩槻藩主大岡家の宗家である九条道孝侯爵によって植えられたもので、幹周り約4.7m、樹齢約130年の巨木です。

## ⑧ 浄安寺

浄土宗のお寺で、快樂山微妙院浄安寺といい、阿弥陀如来を本尊としています。もとは真言宗であったが、永正2年(1505)増上寺第5世の天誉了聞上人が開山となり、現在の宗派に改めたといわれています。

境内には、岩槻藩初代藩主高力清長、徳川家康の孫徳松丸とその母竹の局、児玉南柯の墓などがあります。



## ⑨ 大龍寺

曹洞宗のお寺で、雲居山大龍寺といい、釈迦如来を本尊としています。寺の創立は元和6年(1620)岩槻藩主青山忠俊により開基されました。

昭和29年(1954)本堂が火災により焼失しましたが、平成17年(2005)に再建されています。

山門や本堂には立派な龍が彫刻されています。境内には、岩槻人形の中興の祖といわれている橋本重兵衛の墓があります。また、本堂裏には樹齢約400年の大きなスダジイがあります。



## ⑩ 愛宕神社(岩槻城大構)

祭神は迦具土命かぐつちのみことで、火防の神といわれています。現在の社殿は関東大震災後に再建されたものです。かつて岩槻は城と城下町おろかみちといわれる、周囲約8kmに及ぶ土塁と堀に囲まれていました。愛宕神社はこの大構の上に鎮座しています。

大構は昭和30年代にかけて徐々に切り崩され、現在はここ愛宕神社周辺等に名残りを見ることができます。

